

5 本時(15時間目)の学習指導

- 目標 ・かけ算の式をもとに、コンピュータを利用していろいろな場面での絵を考え、かけ算の問題文を作ることができる。
 ・友達と問題を吟味することで、よりよい問題作りの工夫を学び合うことができる。

学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性
<p>1 前時の復習をし、本時の課題を確認する。</p> <p>2 2×3の式になる絵を使い、問題を作る。 自分でコンピュータを操作し、絵を使って問題を作る。</p> <p>ペアで吟味し、よりよい問題にする。</p> <p>3 できた問題が、分かりやすく、正しいか全体で話し合う。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>今日は、コンピュータを使って 2×3 の式になる絵を描いて、問題文を作るんだな。</p> <p>2×3 の式に合った絵を考え、問題を作ろう。</p> <p>2×3 は、(2)の(3)つだから……</p> <p>みかんで 車で 花で 人で ウサギで</p> <p>ペアの友だちと確かめ合おう。うまくできたかな。</p> <p>この絵は、3×2 になりそうだよ。2個の3つ分にしよう。</p> <p>むだな言葉があって、少し分かりにくいから、なくてもいい言葉は、のけよう。</p> <p>絵からは「1つ分の数」と「幾つ分」がよく分からないなあ。線を入れたらどうか。</p> <p>・絵図に描くときは、「～の幾つ分」をよく考えることが大事だね。 ・問題には、「1つ分の数」(～ずつ)と「幾つ分」が書いているよ。</p> <p>同じ式でもいろいろな絵図が考えられ、たくさん問題ができるんだな。 問題作りには、必要な言葉があることが分かったよ。 今度は、もっと難しい式でも挑戦したいな！</p>	<p>・前時は、絵から式に合った問題を作り、本時は、式から絵を考え、問題を作ることの違いをおさえる。</p> <p>課生活場面や既習経験を生かし、コンピュータのスタンプを利用して、式にあった絵を描き、問題を作ることを確認する。 見自分で考えることに困った場合は、ヒントコーナーで生活場面と結びついた具体物の操作をしたり、文章化できない児童のために、穴抜きのヒントカードを利用させたりして、「1つ分の数」と「幾つ分」が分かるように支援する。</p> <p>・T1は、つまずいている児童を中心にヒントコーナーや印刷機のところで支援する。 ・T2は、コンピュータの操作に困っている児童を中心に支援する。</p> <p>・T1T2共に、学びの姿勢度上配慮を要する児童の情報を伝え合い、より適切な支援をしていくように努める。</p> <p>評かけ算の式をもとに、コンピュータを利用して絵を考え、ペアの友達と問題を吟味しあう中で、よりよいかけ算の問題を作ることができたか。</p> <p>・いろいろな問題文を吟味する活動を通して、問題作りに必要な言葉に気付かせていくように支援する。 評友達の説明をよく聞き、同じところ、違うところ、いいところを考えながら、問題作りに取り組みたか。</p> <p>共課本時の自分の課題解決の取り組み方や友達のがんばりについて振り返りカードにまとめさせる。</p>